

プラスチックの責任ある使用についての タケダの考え方

概要

プラスチック汚染は、さまざまな形で人と環境に影響を与えます。全ての患者さんのために、ともに働く仲間のために、そして命を育む地球のために、この企業理念のもと、タケダは次のことを約束します。

- プラスチックは現在、当社の製品の製造、包装、流通、および適用に不可欠な必須素材であることを認めます。
- プラスチックの無責任な開発、使用、廃棄は、地球と人の健康に悪影響を及ぼす可能性があることを認識します。
- 製品の品質を守りながら、当社の施設、製品、プロセス、バリューチェーン全体で使われるプラスチックのライフサイクルでの環境への影響を慎重に評価し、影響を最小限に抑えるよう努めます。

プラスチックの使用は当社の製品と事業に必要ですが、私たちは、プラスチックによる環境への悪影響を低減・緩和するために意味のある行動をとることができると思っています。

背景

プラスチックには、製薬業界にとって有益で、タケダの事業に必要不可欠な、役に立つ多くの特性があります。プラスチックは化学的に安定しており、気密性があり、滅菌できるため、製品の品質、患者さんの安全を確保し、薬を確実に提供できるようにするために、当社の事業全体で使われています。

これらの特性により、製品の有効期間が延長され、不必要な廃棄物も回避されます。プラスチックは強く軽量なため、輸送中に使用する燃料が削減できる上に、製品も保護されます。さらに、プラスチックは競合する素材よりも環境への負荷が低く、通常、ガラス、金属、その他の代替材料よりも製造で使われるエネルギー量が抑えられます。

しかし、プラスチックは環境に重大な悪影響ももたらします。現在、プラスチックの大半は再生不可能な化石燃料に由来しており、原材料の抽出・処理中に、および原材料をリサイクルしない無責任な廃棄物マネジメントの過程で、大気汚染や¹水質汚染²など、環境への悪影響がもたらされます。プラスチック廃棄物の一部はリサイクルされますが、大部分は埋め立てられるか、焼却されるか、または環境中に直接廃棄されます。特に、廃棄物処理の規制が不十分な地域ではそのような傾向があります。国連環境計画（UNEP）は、「1950～2017年の間に生産された推定 92 億トンのプラスチックのうち、約 70 億トンがプラスチック廃棄物になり、その 4 分の 3 は埋立地に投棄されるか、コントロールされない不正管理廃棄物になるか、海などの環境に投棄または廃棄されている」と報告しています。³さらに、環境中のマイクロプラスチックの問題も新たな問題として発生し、人の健康と環境への長期的な影響に関して疑問と懸念が提起されています。⁴

タケダの視点

以下の原則は、プラスチックの管理に対するタケダの戦略的アプローチの指針となっています。

- 私たちは、化石燃料由来ではなく、再生可能で、気候変動に寄与しない代替プラスチック源を増やす必要性を認識しています。私たちは科学主導のアプローチを採用し、プラスチック代替品、および包装材料や医療機器にリサイクルできる素材の採用を推進する業界の共同作業に参加しています。
- 私たちは、施設、製品、プロセス、およびバリューチェーン全体で使われるすべてのプラスチックの設計を最適化し、代替素材を評価し、リサイクル可能性を評価することで、ライフサイクルでの環境への負荷を最小限に抑えるよう努めます。タケダは、固形製剤の薬物の包装、特に日本における製品ボトルへのバイオポリマーの使用で大きく前進しています。
- 優先廃棄物マネジメントヒエラルキーを導入して、廃棄物の最小化を促進し、責任ある廃棄物管理を義務付けています。また、プラスチック廃棄物の経路を評価するとともに、影響の重大度に基づいて、廃棄量の削減または改善に優先的に取り組んでいます。

¹ <https://www.ciel.org/project-update/plastic-climate-the-hidden-costs-of-a-plastic-planet/>

² <https://www.iucn.org/resources/issues-brief/marine-plastic-pollution>

³ <https://www.unep.org/interactives/beat-plastic-pollution/>

⁴ <https://www.whoi.edu/know-your-ocean/ocean-topics/ocean-human-lives/pollution/marine-microplastics/>

まとめ

現在、プラスチックは製品の品質と患者の安全を守るために必要であり、この点で妥協することはできません。一方で、タケダは責任あるプラスチックの使用、取り扱い、廃棄の重要性も認識しています。私たちは、プラスチックの使用による環境への影響を最小限に抑えることに取り組むと同時に、安全で高品質な製品を提供し、人の健康を増進し、世界により明るい未来をもたらすという使命を果たしていきます。

タケダについて

タケダは、日本に本社を置き、自らの企業理念に基づき患者さんを中心に考えるというバリュー（価値観）を根幹とする、グローバルな研究開発型のバイオ医薬品のリーディングカンパニーです。「すべての患者さんのために、ともに働く仲間のために、いのちを育む地球のために」という約束を胸に、革新的な医薬品を創薬し、提供し続ける未来を目指します。研究開発においては、免疫と炎症性疾患の専門知識を駆使して、腫瘍学、希少遺伝学・血液学、神経科学、消化器病学(GI)の4つの治療領域の研究調査活動に注力しています。血漿分画製剤とワクチンにも注力しています。

2023年3月